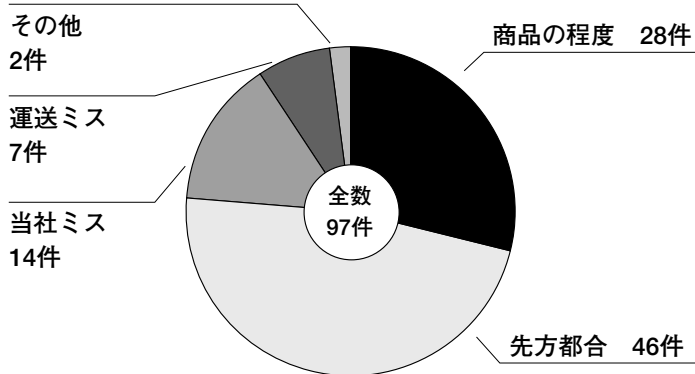


レポートニュース

No.5

当社では、钣金業界における景気動向の指標のひとつとして、全国のお得意様の中からオコシヤ屋さん20社を抽出して、毎年売上実績を調査しております。ご参考になれば幸いです。

今月のクレーム集計報告



先方都合46件の内訳は見込み発注による返品が20件に達しています。また車両情報不足による部品違いは12件発生しました。

自社商品のクレーム発生率1%以内を目指しています。

商品の程度のクレーム内訳	クレーム数	クレーム率 (クレーム数 / 出荷数 × 100)
バンパー	2件 / 2本 / 1295本	0.15%
ボンネット	10件 / 10枚 / 465枚	2.15%
フェンダー	10件 / 10枚 / 780枚	1.28%
ライト	6件 / 6個 / 1412個	0.42%
トランク・ドア	0件 / 0枚 / 80枚	0%

お客様からの要望事項とその対策

- フェンダーの裏板ブラケットを取り外した後、酸素溶接で再取り付けすると強度に問題があり、また塗装面のダメージも大きく再塗装に手間がかかりすぎる。

対策 9月中旬より裏板ブラケットはMIG溶接にて取り付け開始致しました。

オコシヤ屋さん売上推移表

A社	H12年度	6,032	100%
	H13年度	8,078	134%
	H14年度(4~9月)	7,552	250% ※単位:千円
B社	H12年度	1,623	100%
	H13年度	1,636	101%
	H14年度(4~9月)	2,068	255% ※単位:千円
C社	H12年度	2,112	100%
	H13年度	5,684	269%
	H14年度(4~9月)	2,674	253% ※単位:千円
D社	H12年度	5,668	100%
	H13年度	6,815	120%
	H14年度(4~9月)	1,878	66% ※単位:千円
E社	H12年度	870	100%
	H13年度	3,663	421%
	H14年度(4~9月)	1,918	441% ※単位:千円
F社	H12年度	414	100%
	H13年度	984	238%
	H14年度(4~9月)	1,235	597% ※単位:千円
G社	H12年度	3,645	100%
	H13年度	3,718	102%
	H14年度(4~9月)	2,077	114% ※単位:千円
H社	H12年度	2,023	100%
	H13年度	2,210	109%
	H14年度(4~9月)	1,657	164% ※単位:千円
I社	H12年度	3,750	100%
	H13年度	4,703	125%
	H14年度(4~9月)	2,537	135% ※単位:千円
J社	H12年度	1,417	100%
	H13年度	1,357	96%
	H14年度(4~9月)	941	133% ※単位:千円

K社	H12年度	4,158	100%
	H13年度	2,978	72%
	H14年度(4~9月)	1,071	52% ※単位:千円
L社	H12年度	3,218	100%
	H13年度	3,233	100%
	H14年度(4~9月)	1,474	92% ※単位:千円
M社	H12年度	492	100%
	H13年度	1,047	213%
	H14年度(4~9月)	1,741	708% ※単位:千円
N社	H12年度	1,153	100%
	H13年度	1,066	92%
	H14年度(4~9月)	1,029	178% ※単位:千円
P社	H12年度	3,849	100%
	H13年度	5,231	136%
	H14年度(4~9月)	1,758	91% ※単位:千円
Q社	H12年度	2,721	100%
	H13年度	3,468	127%
	H14年度(4~9月)	1,656	122% ※単位:千円
R社	H12年度	541	100%
	H13年度	1,134	210%
	H14年度(4~9月)	1,529	565% ※単位:千円
U社	H12年度	1,568	100%
	H13年度	2,323	148%
	H14年度(4~9月)	346	44% ※単位:千円
W社	H12年度	1,112	100%
	H13年度	1,862	167%
	H14年度(4~9月)	1,346	242% ※単位:千円
X社	H12年度	2,886	100%
	H13年度	4,378	152%
	H14年度(4~9月)	2,710	188% ※単位:千円
各社合計	H12年度	49,252	100%
	H13年度	65,568	133%
	H14年度(4~9月)	39,197	159% ※単位:千円

注 推移表のH14年度における伸び率は4~9月までの6カ月間の数値を2倍にして、1年間の数値として割り出した予測値です。

全国平均を見ますとH13年は前年比33%up、H14年の年間予想では前年比20%upになります。

やや伸び率は小さくなっているものの、堅実な伸びがあります。最近では良質車が極度に不足しており仕入れ競争が激しくなっていると聞きます。一方では中古車市場にもデフレ経済の波が押し寄せて売れ筋価格帯の低下が進行しているようです。このような中、修理費用の捻出のため、オコシヤ屋さんがより多くの部品供給をリサイクル業者に求めてきていることが、今回の調査でもハッキリとうかがえられました。

総論